

深イ〜話！

No.112

—「運がいい人になるには・・・」(作家 中井俊巳のメルマガより抜粋) —

運がよくなるお話をします。

運がよくなるいい方法は、運がいい人とつきあうことです。

そして、その運がいい人のマネをすればいいのです。

齋藤^{ひとり}一人さんは、日本一のお金持ちだと言われている運がいい人です。

齋藤一人さんは、「ツイてる、ツイてる」という言葉で、すごく知られるようになりましたが、もちろんそれだけではありません。

もともとその考え方が、ご自分でも言われているようにちょっと変わっているのです。

その考え方が、一人さんに幸運をもたらしていると思います。

この前、弟子の舛岡はなえさんの『齋藤一人 人生ぜんぶハッピーラッキー』という本を読みました。面白くていい本でした。

その中から、ひとつの面白いエピソードをご紹介します。

舛岡はなえさんは、あるとき、前から疑問に思っていたことを一人さんに尋ねます。

それは、すごくいい人で幸せだった人が、あるときから、幸せでなくなるのはなぜか、ということです。

一人さんは、

「理由はひとつ、でも、この話を信じてくれる人は、10000人に1人もいればいほうなんだよね(笑)」
などと言って、教えてくれます。

何だと思いませんか？

わたしはそれを読んで、ああ、この人は、やはりただのお金持ちではない。

ほんとに運がいい人だなあ。

すごい人だなあ。

お金持ちになったのは、その結果であって、一人さんの心がそうならしめたのだ、と感心しました。

一人さんは、こう言ったのです。

そのとおり引用しますね。

(いい人で幸せだった人が、幸せでなくなるのは)

「自分が神さまに愛されている、って思ってないからなんだ。本当は、人はみな神さまに愛されているの
ね・・・」

いかがですか？ この答え・・・

ちょっと変わっているでしょう。

でも、わたしは、この感覚はよくわかります。

普通の人は、何か問題があると、あれが悪い、これが悪い、と悲観的になりがちです。

お前が悪い、あいつが悪い、と誰かを責めてしまいます。

自分は不幸だなあ、運が悪いんだと思い込みます。

箱が潰れる!

ぐんぐん
おに



〔図1〕蓋のない箱は水平力に弱い

6面体の箱は、蓋があることによって強度を発揮する。蓋がない箱は外から押すと潰れやすい。建物の床は蓋と同じように、構造において水平方向の力に対して重要な役割を果たす (イラスト:kucci)